

感覚運動医学講座 皮膚科学

1. 領域構成教職員・在職期間

教授	長谷川 稔	平成25年6月-
准教授	尾山 徳孝	平成30年4月-
講師	飯野 志郎	平成18年10月-平成18年12月,平成24年4月-(平成29年8月-現職)
助教	井戸 英樹	平成16年8月-平成17年9月,平成20年10月-
助教	知野 剛直	平成26年4月-
助教	加藤 卓浩	平成31年4月-

2. 研究概要

研究概要

1) 全身性強皮症の新規治療法の開発

全身性強皮症は、線維化、血管障害を特徴とする膠原病で、難病に指定されており、治療法が十分に確立されていない。このため、強皮症の動物モデルを用いて新規治療法の探索を続けてきている。

・ケモカインを標的とした抗体治療 以前に2種類の強皮症のマウスモデルにおいて、ケモカインCX3CL1を阻害するモノクローナル抗体投与による治療効果を明らかにし、リウマチ研究のトップジャーナルであるArthritis and Rheumatologyに報告した。本治療法を実際の臨床応用に発展させるため、別の強皮症モデルである皮膚硬化型慢性GVHDモデルにおいても本抗体治療の有用性を検討した。このモデルでは皮膚だけでなく、肺にも強皮症にみられるような線維化が生じるが、抗CX3CL1抗体治療は皮膚や肺の線維化を用量依存性に有意に抑制した。我々の3種類の疾患マウスモデルでの有用性を根拠として、今後は実際の強皮症患者の臨床試験に発展させたいと考えている。

・間葉転換を抑制する薬剤による新規治療 強皮症では、線維芽細胞だけでなく、血管内皮・周皮細胞、上皮細胞、脂肪細胞、骨髄由来のfibrocyteなどの前駆細胞が筋線維芽細胞などの間葉系細胞に移行して線維化が促進する可能性が指摘されている。我々は独自の手法により、上皮細胞が間葉系細胞に移行する系を阻害する薬剤を1200種類以上の化合物の中からスクリーニングした。そして、そのひとつである化合物LG283の有用性をプレオマイシン誘導性強皮症マウスモデルにおいて検討した。LG283の連日内服により皮膚硬化は有意に抑制され、特に副作用のみみられなかった。炎症には影響がみられず、直接線維化を抑制していると考えられたため、ヒトの培養皮膚線維芽細胞におけるLG283の作用を検討した。LG283は、TGF-βによる線維芽細胞からのコラーゲンやファイブロンクチンの産生を抑制した。また、上皮細胞や血管内皮細胞にTGF-βを添加して間葉系細胞への移行を誘導する検討において、LG283の添加は間葉移行を抑制した。本薬剤が強皮症などの線維化疾患の治療薬として有用な可能性が考えられる。本研究成果は、皮膚科学研究の国際会議においてプレナリイロ演に選出された。他にも同様のスクリーニング法で抽出した市販薬のひとつが、プレオマイシン誘導性強皮症マウスモデルの炎症や線維化を有意に抑制することを認めており、その機序について検討を進めている。我々の独自のスクリーニング法が、抗線維化薬の開発に有用と考えられる。

・カルパイン阻害剤による新規治療 細胞内Ca²⁺要求性プロテアーゼであるカルパインファミリーは、その生理活性が様々な疾患の病態に関与することが知られている。カルパイン阻害剤は、マウスにおいて肺線維化、皮膚の癬癩形成、血管障害などを軽減する報告があり、強皮症の線維化、血管障害の治療薬として有用な可能性がある。カルパイン阻害剤のひとつであるALLNを培養ヒト皮膚線維芽細胞に添加したところ、TGF-βによるSmad2/3のリン酸化が阻害され、コラーゲンやファイブロンクチンの産生が抑制された。そこで、プレオマイシン誘導性強皮症モデルに腹腔内注射を行うと、皮膚の炎症や線維化が有意に軽減した。本研究成果は、皮膚科学研究の国際会議において口演に選出された。

2) 表皮に発現する蛋白デルモカインの役割の検討

我々は、乾癬やアトピー性皮膚炎などの炎症性皮膚疾患の患者病変部皮膚においては、正常な皮膚に比べて表皮上層にデルモカインの発現が増強していることを報告してきた。また、*in vitro*ではデルモカインが表皮細胞の活性化や増殖を抑制する作用を認めている。しかし、*in vivo*での役割はよくわかっていないため、我々は独自にデルモカインβ/γ欠損マウスとデルモカインα/β/γ欠損マウスを作成した。デルモカインの欠損により、生後10日間程度の限られた時期に魚鱗癬に似た皮膚の角化、かさつきがみられ、デルモカインα/β/γ欠損マウスではデルモカインβ/γ欠損マウスよりも強い表現型を呈し、表皮バリア機能や角化に異常がみられた。また、その機序としてバリア機能に重要なセラミドの減少が認められた。また、表皮におけるマイクロアレイによる検討では、興味深いことに乾癬と似た遺伝子プロファイルが認められた。さらに、デルモカイン欠損マウスにイミキモドを外用して乾癬を誘導すると、野生型マウスに比べて乾癬が著明に悪化することが明らかとなった。一方で、アトピー性皮膚炎のモデルにおいては、野生型と差がみられなかった。このことから、デルモカインは皮膚の正常な角化や乾癬などの病態の炎症制御など皮膚の恒常性維持に重要と考えられた。

以上の結果は、皮膚科学研究で最も権威のあるJournal of Investigative Dermatologyに掲載され、筆頭著者の宇都宮 慧は、福井大学医学部同窓会学術奨励賞「金賞」を受賞した。

キーワード

強皮症, 乾癬, アトピー性皮膚炎, 皮膚腫瘍, 新規治療

業績年の進捗状況

特色等

当教室では、膠原病のひとつで、線維化、血管障害を特徴とする全身性強皮症を専門として力を入れて診療している。しかしながら、本疾患は膠原病の中でも最も治療が難しく、予後不良の症例も少なくない。このため、新規治療を開発すべく、以下のような3つのアプローチで検討を進めている。1) マクロファージなどの組織への細胞浸潤を誘導するケモカインのひとつであるCX3CL1を抑制する抗体治療、2) 1200種類以上からスクリーニングした間葉移行を抑制する化合物による治療、3) カルパイン阻害剤による治療。強皮症のマウスモデルにこれらの薬剤を投与したところ、線維化や血管障害を抑制する効果が確認され、問題となる副作用はみられない。将来的には、これらの薬剤を実際の強皮症患者や他の炎症性疾患や線維化疾患に投与する臨床試験へと発展させたい。また、薬剤の作用機序を検討する中で、強皮症の病態を明らかにする手がかりが得られるものと信じている。

もうひとつの研究の大きな柱は、表皮に発現する糖蛋白デルモカインの役割の解明である。我々は、その役割をより明らかにするためにデルモカインの欠損マウスを作成し、その表現型を解析した。このマウスでは皮膚の保湿に重要なセラミドが減少し、角化と関連する様々な分子の発現に生じるため、毛が生えてくるまでは魚鱗癬のようなかさかさした皮膚を呈し、魚鱗癬などの角化異常疾患のモデルや病態解析に有用と考えられる。また、このマウスに代表的な皮膚炎症性疾患であるアトピー性皮膚炎、乾癬、接触皮膚炎などのモデルを誘導すると、乾癬のモデルでのみ野生型マウスに比べて悪化がみられた。このように、デルモカインは角化やバリア機能異常のみならず、免疫担当細胞にも作用して特定の炎症の抑制に作用しているものと考えられた。本研究は、皮膚の角化異常や炎症性疾患におけるバリア機能と免疫異常とのクロストークの解明の一助になるとと思われる。当教室はデルモカインの研究では世界のトップを走っており、デルモカインの発現を促進するような治療が、将来的に実際の乾癬患者に有用となる可能性を秘めており、臨床的な意義も大きい。

本学の理念との関係

当教室では世界的水準での免疫学的な研究を推進しており、その研究成果を皮膚科学やリウマチ学の国際的なトップジャーナルに発表し、プレスリリースや記者説明会などで報告してきた。また、これらの研究を通して、地域、国、国際社会に貢献できる若手研究者の育成を行い、国際学会などでの報告も奨励している。研究の大半は、市販されていない治療薬や独自に作成した遺伝子欠損マウスを用いた独創性の高いものであり、難治性の皮膚疾患やリウマチ疾患における最新治療の開発に結びつく最先端の医学研究である。これらのことから、当教室での研究内容は本学の理念によく合致したものであり、その意義は大きいと考える。

3. 研究実績

区分	編数		インパクトファクター (うち原著のみ)			
	2014~2019年分	2020年分	2014~2019年分	2020年分		
和文原著論文	28	6	—	—		
英文論文	ファーストオーサー	22	8	48.249(46.203)		
	コラストディンガーオーサー	19	10	43.629(41.583)		
	その他	30	6	111.815(103.877)		
	合計	53	16	162.839(152.855)		
			26.178(22.875)	29.377(26.074)	20.007(20.007)	49.384(46.081)

(A) 著書・論文等

(1) 英文：著書等

a. 著書

b. 著書 (分担執筆)

c. 編集・編集・監修

(2) 英文：論文等

a. 原著論文 (審査有)

- 2033164** Kuwana M, Hasegawa M, Fukue R, Shirai Y, Ishikawa O, Endo H, Ogawa F, Goto D, Kawaguchi Y, Sato S, Ihn H, Takehara K.: Initial predictors of skin thickness progression in patients with diffuse cutaneous systemic sclerosis: Results from a multicentre prospective cohort in Japan., *Mod Rheumatol.*, 31(2), 386-393, 202103, DOI: 10.1080/14397595.2020.1784548, #2.113
- 2033165** Kasamatsu H, Oyama N, Hasegawa M, Oku Y, Inoue G, Kimura M, Kanno M, Kawakami T, Ohta H, Yoneshima M.: Fatal case of pancreatic panniculitis caused by occult neuroendocrine tumor in the corresponding organ: A case report and review of the published work, *J Dermatol.*, 48(2), 237-241, 202102, DOI: 10.1111/1346-8138.15646 (症例報告), #3.072
- 2033166** Utsunomiya A, Hasegawa M, Oyama N, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Ogawa F, Takahashi H, Tanaka S, Sato S, Takehara K, Ihn H.: Clinical course of Japanese patients with early systemic sclerosis: A multicenter, prospective, observational study., *Mod Rheumatol.*, 31(1), 162-170, 202101, DOI: 10.1080/14397595.2020.1751408, #2.113
- 2033167** Kasamatsu H, Chino T, Oyama N, Nakaya T, Hasegawa M.: Bullous pemphigoid receiving a novel long-acting dipeptidyl-peptidase-4 (DPP-4) inhibitor omalizumab in a patient with type 2 diabetes: A case report, *J Cutan Immunol Allergy*, 4(4), 89-91, 202101, DOI: 10.1002/cia2.12162, #0.127
- 2033168** Yoshino Y, Hashimoto A, Ikegami R, Irisawa R, Kanoh H, Sakurai E, Nakanishi T, Maekawa T, Tachibana T, Amano M, Hayashi M, Ishii T, Iwata Y, Kawakami T, Sarayama Y, Hasegawa M, Matsuo K, Ihn H, Omoto Y, Madokoro N, Isei T, Otsuka M, Kukino R, Shintani Y, Hirosaki K, Motegi S, Kawaguchi M, Asai J, Isogai Z, Kato H, Kono T, Tanioka M, Fujita H, Yatsushiro H, Sakai K, Asano Y, Ito T, Kadono T, Koga M, Tanizaki H, Fujimoto M, Yamasaki O, Doi N, Abe M, Inoue Y, Kaneko S, Koderama M, Tsujita J, Fujiwara H, Le Pavoux A.: Wound, pressure ulcer and burn guidelines - 6: Guidelines for the management of burns, second edition., *J Dermatol.*, 47(11), 1207-1235, 202011, DOI: 10.1111/1346-8138.15335, #3.072
- 2033169** Utsunomiya N, Utsunomiya A, Chino T, Hasegawa M, Oyama N.: Gene silencing of extracellular matrix protein 1 (ECM1) results in phenotypic alterations of dermal fibroblasts reminiscent of clinical features of lichen sclerosus., *J Dermatol Sci.*, 100(2), 99-109, 202011, DOI: 10.1016/j.jdermsci.2020.06.010, #3.681
- 2033170** Yamashita K, Kawasaki A, Matsushita T, Furukawa H, Kondo Y, Okiyama N, Nagaoka S, Shimada K, Sugii S, Katayama M, Hirohata S, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Setoguchi K, Migita K, Sumida T, Tohma S, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Sato S, Kawaguchi Y, Takehara K, Tsuchiya N.: Association of functional (GA)n microsatellite polymorphism in the FLL1 gene with susceptibility to human systemic sclerosis., *Rheumatology (Oxford)*, 59(11), 3553-3562, 20201101, DOI: 10.1093/rheumatology/keaa306, #5.606
- 2033171** Fujimoto M, Asai J, Asano Y, Ishii T, Iwata Y, Kawakami T, Koderama M, Abe M, Amano M, Ikegami R, Isei T, Isogai Z, Ito T, Inoue Y, Irisawa R, Ohtsuka M, Omoto Y, Kato H, Kadono T, Kaneko S, Kanoh H, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Koga M, Sakai K, Sakurai E, Sarayama Y, Shintani Y, Tanioka M, Tanizaki H, Tsujita J, Doi N, Nakanishi T, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Hirosaki K, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Motegi SI, Yatsushiro H, Yamasaki O, Yoshino Y, Pavoux AL, Tachibana T, Ihn H.: Wound, pressure ulcer and burn guidelines - 4: Guidelines for the management of connective tissue disease/vasculitis-associated skin ulcers., *J Dermatol.*, 47(10), 1071-1109, 202010, DOI: 10.1111/1346-8138.15186, #3.072
- 2033172** Fujiwara H, Isogai Z, Irisawa R, Otsuka M, Kadono T, Koga M, Hirosaki K, Asai J, Asano Y, Abe M, Amano M, Ikegami R, Ishii T, Isei T, Ito T, Inoue Y, Iwata Y, Omoto Y, Kato H, Kaneko S, Kanoh H, Kawakami T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Koderama M, Sakai K, Sakurai E, Sarayama Y, Shintani Y, Tanioka M, Tanizaki H, Tsujita J, Doi N, Nakanishi T, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Hirosaki K, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Motegi SI, Yatsushiro H, Yamasaki O, Yoshino Y, Pavoux AL, Tachibana T, Ihn H.: Wound, pressure ulcer and burn guidelines - 2: Guidelines for the diagnosis and treatment of pressure ulcers, second edition, *J Dermatol.*, 47(9), 929-978, 202009, DOI: 10.1111/1346-8138.14587, #3.072
- 2033173** Uesugi-Uchida S, Oyama N, Koizumi H, Hiramatsu K, Nakamoto Y, Hasegawa M: Tuberculosis-unrelated erythema induratum occurring after commencing tumor necrosis factor (TNF)- α antagonist therapy in a case with ulcerative colitis: A rare comorbidity interconnected by TNF- α blockade pathway, *J Dermatol.*, 47(9), e326-e328, 202009, DOI: 10.1111/1346-8138.15486, #3.072
- 2033174** Yoshida Y, Oyama N, Hasegawa M.: Localized cutaneous nodular amyloidosis in a patient with primary Sjögren syndrome: A revisit of autoimmunity modifying clinicopathology through an updated literature review., *J Cutan Immunol Allergy.*, 3(4), 88-90, 202008, DOI: 10.1002/cia2.12113 (症例報告), #0.127
- 2033175** Hasegawa M, Inoue Y, Kaneko S, Kanoh H, Shintani Y, Tsujita J, Fujita H, Motegi SI, Le Pavoux A, Asai J, Asano Y, Abe M, Amano M, Ikegami R, Ishii T, Isei T, Isogai Z, Ito T, Irisawa R, Iwata Y, Otsuka M, Omoto Y, Kato H, Kadono T, Kawakami T, Kawaguchi M, Kukino R, Kono T, Koga M, Koderama M, Sakai K, Sakurai E, Sarayama Y, Tanioka M, Tanizaki H, Doi N, Nakanishi T, Hashimoto A, Hasegawa M, Hayashi M, Hirosaki K, Fujiwara H, Maekawa T, Matsuo K, Madokoro N, Yatsushiro H, Yamasaki O, Yoshino Y, Tachibana T, Ihn H.: Wound, pressure ulcer and burn guidelines - 1: Guidelines for wounds in general, second edition, *J Dermatol.*, 47(8), 807-833, 202008, DOI: 10.1111/1346-8138.15401, #3.072
- 2033176** Elman SA, Joyce C, Braudis K, Chong BF, Fernandez AP, Furukawa F, Hasegawa M, Kim HJ, Li SJ, Lian CG, Szepletowski JC, Werth VP, Merola JF.: Creation and validation of classification criteria for discoid lupus erythematosus., *JAMA Dermatol.*, 156(8), 901-906, 202008, DOI: 10.1001/jamadermatol.2020.1698, #7.738
- 2033177** Ikeda T, Kawakami T, Arimura Y, Ishiguro N, Ishizu A, Ito F, Ito-Ihara T, Okiyama N, Ono S, Suzuki K, Sugawara K, Seishima M, Koderama M, Tanaka M, Hasegawa M, Furukawa F, Yamaguchi Y, Yoshizaki A: Survey of Japanese dermatological vasculitis specialists on cases of cutaneous arteritis (cutaneous polyarteritis nodosa), *J Dermatol.*, 47(5), 534-537, 202005, DOI: 10.1111/1346-8138.15273, #3.072
- 2033178** Takahashi H, Oyama N, Amamoto M, Torii T, Matsuo T, Hasegawa M.: Prospective trial for the clinical efficacy of anogenital skin care with miconazole nitrate-containing soap for diaper candidiasis., *J Dermatol.*, 47(4), 385-389, 202004, DOI: 10.1111/1346-8138.15257, #3.072

b. 原著論文 (審査無)

c. 原著論文 (総説)

- 2033179** Utsunomiya A, Oyama N, Hasegawa M.: Potential Biomarkers in Systemic Sclerosis: A Literature Review and Update., *J Clin Med.*, 9(11), 3388-3388, 20201022, DOI: 10.3390/jcm9113388, #3.303

d. その他研究等実績 (報告書を含む)

e. 国際会議論文

(3) 和文：著書等

a. 著書

b. 著書 (分担執筆)

- 2033180** 長谷川 稔: Raynaud (レイノー) 現象を診たら、林 伸和: むかしの頭で診ていませんか? 皮膚診療をスッキリまとめました。 南江堂, 103-107, 20201115, 978-4-524-22753-2
- 2033181** 長谷川 稔: 手の発疹から膠原病を見つける: 常深 祐一郎, 鶴田大輔, 宮地良樹: WHAT'S NEW in 皮膚科学2020-2021, メディカルレビュー社, 160-161, 20200701, 978-4779222689
- 2033182** 尾山徳孝, 長谷川 稔: 環状紅斑 / Erythema annulare: 池田 展一, 柘島 健治: 今日の疾患辞典 Current Decision Support, プレシジョン, web, 20200401

c. 編集・編集・監修

(4) 和文：論文等

a. 原著論文（審査有）

- 2033183** 宇都宮 慧、長谷川 稔、廣田 智哉、岩崎 博道、早稲田 優子、松下 貴史：多発性筋炎・皮膚筋炎：ケースプレゼンテーション 治療経過中に急性心不全を生じた皮膚筋炎の1例。日本リウマチ学会総会・学術集会プログラム・抄録集、65、399-399、202103
- 2033184** 関根 史織、尾山徳孝、長谷川稔、大嶋勇成、安富素子、石田久哉、早川幸紀：診断時に顔面血管線維腫を主症状とし、シロリムスゲルが皮膚に有効であった結節性硬化症の2例。皮膚科の臨床、63(1)、101-104、20210101、DOI: 10.18888/hi.000002359
- 2033185** 笠松 宏至、宇都宮 慧、尾山 徳孝、高橋 秀典、杉原 友佳、稲谷 大、長谷川 稔：ヒドロキシクロロキン硫酸塩の内服中に口唇色素沈着を生じた全身性エリテマトーデスの1例。皮膚科の臨床、62(13)、1915-1918、20201201、DOI: 10.18888/hi.000002306（症例報告）
- 2033186** 尾山 徳孝、長谷川 稔：エフィナコナゾール外用液刷毛デバイスの使用における形状変化と衛生面の評価、Prog Med、40(11)、1229-1231、20201110
- 2033187** 関根 史織、尾山 徳孝、長谷川 稔：経過中に有棘細胞癌とBowen病を合併した播種状表在性汗孔角化症の1例。皮膚科の臨床、62(8)、1200-1204、20200701、DOI: 10.18888/hi.000002091（症例報告）
- 2033188** 尾山徳孝、宇都宮夏子、長谷川稔：白斑や抗甲状腺抗体などの自己免疫異常を伴った外陰部硬化性苔癬。皮膚病診療、42(4)、310-312、20200401、DOI: 10.24733/pd.0000001993（症例報告）

b. 原著論文（審査無）

c. 総説

- 2033189** 長谷川 稔：【臓器線維症を科学する-病態解明と治療法開発への展望】臓器特異性と共通性、全身性強皮症の皮膚線維化の機序と治療標的。医学のあゆみ、275(10)、1143-1148、20201205
- 2033190** 長谷川 稔：皮膚筋炎による顔の赤み、Derma、294(4月増刊)、11-14、20200415
- 2033191** 長谷川 稔：【最近のトピックス2020 Clinical Dermatology 2020】皮膚疾患治療のポイント、皮膚病変を中心としたエリテマトーデスの治療、新ガイドラインの解説を含めて、臨床皮膚科、74(5)、120-124、20200410、DOI: 10.11477/mf.1412206036

d. その他研究等実績（報告書を含む）

e. 国際会議論文

(B) 学会発表等

(1) 国際学会

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演（口演）

d. 一般講演（ポスター）

- 2033192** Kasamatsu H, Utsunomiya A, Utsunomiya N, Hasegawa T, Chino T, Oyama N, Yamada M, Hasegawa M: A calpain inhibitor ALLN ameliorates bleomycin-induced skin fibrosis via antagonizing TGF- β /Smad signaling pathway. The 45th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 20201211, プログラム、158
- 2033193** Utsunomiya A, Chino T, Oyama N, Niwa S, Otsuka M, Ihn H, Hasegawa M: Antifibrotic effect of a novel compound LG283 in bleomycin-induced systemic sclerosis model. The 45th Annual Meeting of the Japanese Society for Investigative Dermatology, 20201211, プログラム、145

e. 一般講演

f. その他

(2) 国内学会（全国レベル）

a. 招待・特別講演等

- 2033194** 長谷川 稔：リベド様血管症斑。第119回日本皮膚科学会総会、20200604、プログラム・抄録集、1075

- 2033195** 飯野 志郎：膠原病における特徴的な皮膚症状の病理組織学的所見。第119回日本皮膚科学会総会、20200604、プログラム・抄録集、1097

- 2033196** 長谷川 稔：皮膚症状への対応。第119回日本皮膚科学会総会、20200604、プログラム・抄録集、1013

- 2033197** 長谷川 稔：膠原病の血管炎。第119回日本皮膚科学会総会、20200604、プログラム・抄録集、1085

- 2033198** 長谷川 稔：皮膚エリテマトーデス：分類と治療。第64回日本リウマチ学会総会・学術集会、20200907

- 2033199** 長谷川 稔：それって膠原病？～強皮症と皮膚筋炎～。第36回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会、シンポジウム16、20200921、抄録、243

- 2033200** 土井直孝、橋本 彰、間所直樹、境 恵祐、林 昌浩、川口雅一、天野正宏、尾本陽一、欠田成人、飯野志郎、山田勝裕、三木田直哉、鹿見山 浩、吉野雄一郎：ガイドラインに沿った熱傷診療の基本とupdate。第119回日本皮膚科学会総会、20200604、プログラム・抄録集、1119

- 2033201** 宇都宮 慧：強皮症の経過・治療の現状。第119回日本皮膚科学会総会、20200604、プログラム・抄録集、1113

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

- 2033202** 笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔、大蔵美幸、山内高広：シェーグレン症候群と多発性骨髄腫を背景としたクリオグロブリン血症性血管炎の1例、第50回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会、20201222、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、194
- 2033203** 尾山徳孝、吉田康幸、飯野志郎、長谷川 稔、清水千尋：プロダルマブが腎部化膿性汗腺炎にも奏効した尋常性乾癬の1例、第35回日本乾癬学会学術大会、20200912、抄録、222
- 2033204** 宇都宮 慧、Vu Huy Luong、知野剛直、尾山徳孝、松下貴史、小原 隆、石井直人、久保井良和、待永明仁、小笠原秀晃、池田わたる、河野鉄、今井俊夫、長谷川 稔：抗フラクタルカイン抗体は強皮症様GVHDモデルマウスにおける皮膚硬化、間質性肺炎を抑制する、第48回日本臨床免疫学会総会、20201015、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、78
- 2033205** 長谷川 巧、飯野志郎、北風光平、加藤卓浩、尾山徳孝、長谷川 稔、加畑大輔：黒毛が腫瘍の進展と治療効果を反映した頭部悪性黒色腫の1例、第35回日本皮膚外科学会総会・学術集会、20201017、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、60
- 2033206** 飯野志郎、内田(上杉)沙織、長谷川 巧、笠松宏至、加藤卓浩、尾山徳孝、長谷川 稔：高齢者に発症し、アベルマブが奏効した下眼瞼Merkel細胞癌の1例、第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、20210108、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、143
- 2033207** 長谷川 巧、飯野志郎、関根史織、笠松宏至、内田沙織、宇都宮夏子、加藤卓浩、馬場(白石)夏希、尾山徳孝、長谷川 稔：福井大学皮膚科における頭部血管肉腫の治療経験：過去11年間18症例の検討、第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、20210108、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、155
- 2033208** 岡村咲由莉、尾山陽子、八代 浩、長谷川義典、福本隆也、後藤啓介：Melanocytic tumor of uncertain malignant potential (MELTUMP)と考えられた左足底皮膚腫瘍の1例、第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会、20210108、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、160
- 2033209** 宇都宮 慧、関根史織、尾山徳孝、早川幸紀、長谷川 稔：毛部のSADBE局所免疫療法中に生じた皮膚偽リンパ腫の1例、第50回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会、20201222、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、226

d. 一般講演 (ポスター)

- 2033210** 長谷川 巧、飯野志郎、関根史織、宗石依子、加藤卓浩、尾山徳孝、長谷川 稔、坂口友里江：ニボルマブ・イピリムマブ併用療法中に重篤なirAEが出現した進行期頭部悪性黒色腫の1例、第119回日本皮膚科学会総会、20200604、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、1247
- 2033211** 笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔、瀬戸 瞬、呉林秀崇、五井孝憲、早川幸紀：進行期直腸癌を合併したびまん浸潤型サルコイドーシス(lupus pernio)の1例、第119回日本皮膚科学会総会、20200604、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、1189
- 2033212** 宇都宮 慧、内田(上杉)沙織、吉田康幸、尾山徳孝、長谷川 稔、河原謙一：抗セントロメア抗体陽性の全身性強皮症：親子例、第119回日本皮膚科学会総会、20200604、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、1230

e. 一般講演

f. その他

(3) 国内学会 (地方レベル)

a. 招待・特別講演等

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演 (口演)

- 2033213** 岡村咲由莉、尾山徳孝、長谷川 稔：塩化ベンゾイルが効果的であった多発性家族性毛包上皮腫の1例、第84回日本皮膚科学会東部支部学術大会、20200822、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、115
- 2033214** 井戸英樹、佐藤 英、馬場夏希、加藤卓浩、長谷川巧、岡村咲由莉、尾山徳孝、長谷川 稔：当科にてロングパルスダイレーザー治療を施行した乳児血管腫のまとめ、第84回日本皮膚科学会東京支部学術大会、20201121、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、178
- 2033215** 笠松宏至、尾山徳孝、長谷川 稔、瀬戸 瞬、呉林秀崇、五井孝憲、早川幸紀：進行期直腸癌を合併したびまん浸潤型サルコイドーシス(lupus pernio)の1例、第134回福井県皮膚科医会例会、20210311
- 2033216** 長谷川 稔、宮永美紀、尾山徳孝：過酸化ベンゾイルの外用が奏効した後天性穿孔性皮膚症の1例、第484回日本皮膚科学会大阪地方会(錦織千佳子教授退官記念地方会)、20210313、抄録、6
- 2033217** 明田集機、吉川利英、鈴木孝二、安富素子、加藤卓浩、井戸英樹、樋口翔平、今村好章、大嶋勇成：皮膚生検により診断に至った壊疽性丘疹状結核疹の診療経験、第22回日本小児科学会福井地方会、20201121
- 2033218** 宗石依子、尾山徳孝、長谷川 稔：再発を繰り返したgranulomatous periorificial dermatitisの小児例、日本皮膚科学会北陸地方会第468回例会、20201213、2
- 2033219** 長谷川 稔、宇都宮 慧、尾山徳孝、濱口儒人：良好な経過中に急速に心不全を生じた皮膚筋炎の1例、第295回 日本皮膚科学会東海地方会(清島真理子教授退任記念地方会)、20210321、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ、8
- 2033220** 長谷川 稔、宇都宮 慧、関根史織、尾山徳孝：SADBE 局所免疫療法中に生じた眉毛部の皮膚偽リンパ腫の1例、日本皮膚科学会 東北六県合同地方会第394回例会(相場節也教授退任記念大会)、20210320、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、17
- 2033221** 加藤卓浩、飯野志郎、関根史織、尾山徳孝、長谷川 稔、川崎勇夫：後頭部の巨大な腫瘤に対して二期的な手術加療を行った頭部頭頸部皮膚炎の1例、第72回日本皮膚科学会西部支部学術大会、20201024、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、121
- 2033222** 西村健太郎、尾山徳孝、長谷川 稔、関根史織、清水千尋：長期の痒疹が先行したnevroid hyperkeratosis of the nipple and areola、第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会、20201010、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、151
- 2033223** 長谷川 稔、笠松宏至、宇都宮 慧、尾山徳孝、高橋秀典：ヒドロキシクロロキン内服中に口唇に色素沈着を生じた全身性エリテマトーデスの1例、日本皮膚科学会北陸地方会第469回例会(望月 隆先生退任記念学会)、20210221、抄録、1
- 2033224** 福田英美里、宮永美紀、尾山徳孝、長谷川 稔、位田奈緒子、細野菜穂子：アセトアミノフェンが原因として疑われた急性汎発性発疹性膿疱症の1例、日本皮膚科学会北陸地方会第468回例会、20201213、2
- 2033225** 藤崎美沙子、辻 慶明、内田沙織、笠松宏至、宇都宮 慧、尾山徳孝、山村健太郎：両下肢に多発性膿瘍を伴い、無治療で症状が改善した好酸球性蜂窩織炎(Well's症候群)の1例、第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会、20201010、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、132
- 2033226** 宇都宮 慧、辻 慶明、岡村咲由莉、上杉沙織、尾山徳孝、長谷川 稔、近澤 亮、本定千知、早稲田優子、石塚 全、長谷川奏恵、夢田浩、廣田智哉、岩崎博道、濱口儒人：皮膚筋炎の加療中に急速に心不全を生じた1例、第84回日本皮膚科学会東京支部学術大会、20201121、ﾌﾞﾛｸﾞﾗﾑ・抄録集、186

d. 一般講演 (ポスター)

e. 一般講演

f. その他

業績一覧

(4) その他の研究会・集会

a. 招待・特別講演等

2033227 長谷川 稔: 全身性強皮症の臨床研究と基礎研究, 新潟大学皮膚科特別セミナー, 20201028

b. シンポジスト・パネリスト等

c. 一般講演(口演)

d. 一般講演(ポスター)

e. 一般講演

2033228 尾山 徳孝: 汗から考える皮膚バリア機能と自然免疫 -アトピー性皮膚炎と乾癬の分岐点-, Psoriasis up to date in Fukui, 20201203

2033229 長谷川 稔: 全身性強皮症～基本的な診療のポイント～, SSc-ILD Web Academy, 20201124

2033230 飯野 志郎: 病診連携と皮膚病理診断～皮膚腫瘍と炎症性皮膚疾患について～, Dermatologist meeting ～皮膚腫瘍治療について考える～, 20210302

2033231 尾山 徳孝: アトピー性皮膚炎, 備えよう!アレルギーと新型コロナ 第3回福井県鼻の日保健大会, 20200809

2033232 長谷川 稔: 乾癬, 乾癬性関節炎～日常診療のポイント, 乾癬治療UPDATE ～生物学的製剤を地域医療でどう生かすか～, 20201215

2033233 長谷川 稔: 福井県皮膚科医へ最新の話提供 病診連携の推進, 福井アトピー性皮膚炎Up to Date, 20210218

2033234 飯野 志郎: 福井大学皮膚科におけるメラノーマ診療の実際, Novartis Web Seminar, 20201204

2033235 長谷川 稔: 皮膚所見からの膠原病早期診断, SSc Seminar in 北陸, 20210204

2033236 尾山 徳孝: 乾癬治療における免疫原性の影響と重要性, 乾癬 Future Risk Web Seminar, 20210318

2033237 長谷川 稔: 日本人全身性強皮症の臨床経過の分析, SSc Scientific Exchange Meeting, 20200718

2033238 馬場 夏希: 皮膚がん診療の知見 ～埼玉医科大学国際医療センターへの国内留学～, Novartis Web Seminar, 20201204

2033239 長谷川 稔: 全身性強皮症の新規治療～マウスモデルからの提案～, 膠原病セミナー2021, 20210304

2033240 宇都宮 慧: アトピー性皮膚炎, アレルギーに関するオンライン公開講座, 20210223

2033241 長谷川 稔: 膠原病を見逃さない ～SLE、強皮症、皮膚筋炎を中心に～, 第29回 Dermatology Clinical Meeting, 20200925

f. その他

(C) 特許等

区分	内容(発明の名称)	発明者又は考案者
----	-----------	----------

(D) その他業績

4. グラント取得

(A) 科研費・研究助成金等

区分	プロジェクト名	研究課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額(配分額)
区分	研究種目	課題名	代表者名	分担者名	研究期間	金額(配分額)
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	ドラッグ・リポジショニングによる全身性強皮症の新規治療薬の開発	加藤 卓浩		20200401-20230331	¥1,690,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	炎症性皮膚疾患のバリア機能異常を反映する新規バイオマーカーの探求と臨床応用の検討	宇都宮 慧		20180401-20210331	¥1,300,000
文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(C)	上皮間葉移行阻害薬は全身性強皮症の新規治療となりうるか	長谷川 稔		20190401-20220331	¥1,430,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	カルバイン阻害剤による全身性強皮症の新たな治療戦略	笠松 宏至		20200401-20230331	¥1,820,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	全身性強皮症における新たな治療:抗フラクタルカイン抗体の実用に向けて	長谷川 巧		20200401-20230331	¥1,560,000
文部科学省科学研究費補助金	若手研究	硬化性萎縮性苔癬における細胞外基質への免疫異常を発端とした新たな癌化機構の解明	宇都宮 夏子		20200401-20230331	¥1,560,000

業績一覧

区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
共同研究	住友化学株式会社	皮膚慢性炎症疾患および膠原病に対するバイオマーカーの有用性検討試験	長谷川 稔, 尾山 徳孝, 知野 剛直, 宇都宮 慧, 笠松 宏至, 西村 健太郎	20210115-20211231	¥3,000,000
共同研究	株式会社カン研究所	皮膚疾患におけるケモカインの役割の解析	長谷川 稔, 宇都宮 慧, 知野 剛直, 尾山 徳孝	20170401-20220331	¥0
共同研究	リンク・ジェノミクス株式会社	全身性強皮症治療剤に関する研究	長谷川 稔	20200106-20220331	¥0
区分	機関名	課題名	研究者名	研究期間	契約金額
受託研究	国立大学法人熊本大学	全身性強皮症に対する新規低分子化合物の有効性に関する研究	長谷川 稔	20200730-20210331	¥130,000

(B) 奨学寄附金

受入件数	24
受入金額	¥14,227,945

5. その他の研究関連活動

(A) 学会開催等

区分	主催・共催の別	学会名	開催日	開催地
----	---------	-----	-----	-----

(B) 学会の実績

学会の名称	役職	氏名
日本リウマチ学会	一般会員	長谷川 稔
日本乾癬学会	評議員	長谷川 稔
日本皮膚科学会	理事	長谷川 稔
日本臨床免疫学会	評議員	長谷川 稔
日本皮膚悪性腫瘍学会	評議員	長谷川 稔
日本皮膚科学会	代議員	長谷川 稔
日本免疫学会	一般会員	長谷川 稔
日本研究皮膚科学会	評議員	長谷川 稔
日本ペーチェット病学会	一般会員	尾山 徳孝
国際ペーチェット病学会	一般会員	尾山 徳孝
国際食品機能学会	一般会員	尾山 徳孝
日本研究皮膚科学会	評議員	尾山 徳孝
日本人類遺伝学会	一般会員	尾山 徳孝
日本皮膚免疫アレルギー学会	一般会員	尾山 徳孝
日本皮膚科学会	一般会員	尾山 徳孝
日本臨床皮膚科学会	一般会員	尾山 徳孝
日本乾癬学会	一般会員	尾山 徳孝
日本アレルギー学会	一般会員	尾山 徳孝
日本光医学・光生物学会	一般会員	尾山 徳孝

(C) 座長

国内学会 (全国レベル)	学会名	氏名
一般講演(口演)	日本皮膚科学会北陸地方会第469回例会(望月 隆先生退任記念学会)	尾山徳孝
一般講演(口演)	第36回日本皮膚悪性腫瘍学会学術大会	長谷川 稔
一般講演(口演)	第50回日本皮膚免疫アレルギー学会総会学術大会	長谷川 稔
シンポジウム等	第36回日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会	長谷川 稔
シンポジウム等	第84回日本皮膚科学会東部支部学術大会	長谷川 稔
招待・特別講演等	CTD/ILD Expert Web Conference	長谷川 稔
招待・特別講演等	第84回日本皮膚科学会東京支部学術大会	長谷川 稔
シンポジウム等	第84回日本皮膚科学会東京支部学術大会	長谷川 稔
招待・特別講演等	Psoriasis up to date in Fukui	長谷川 稔
一般講演(口演)	日本皮膚科学会北陸地方会第468回例会	飯野 志郎
招待・特別講演等	第119回日本皮膚科学会総会	長谷川 稔
招待・特別講演等	オフエブSSc-ILD Web Academy	長谷川 稔
招待・特別講演等	第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会	長谷川 稔
一般講演(口演)	第71回日本皮膚科学会中部支部学術大会	尾山徳孝

(D) 学術雑誌等の編集

学術雑誌等の名称	査読・編集	委員長(主査)・委員の別	氏名	査読編数
Open Dermatology Journal	査読		尾山 徳孝	1
Journal of Clinical Medicine	査読		尾山 徳孝	2
European Journal of Dermatology	査読		尾山 徳孝	2
Journal of Investigative Dermatology	査読		尾山 徳孝	2
Journal of Dermatology	査読		尾山 徳孝	9

業績一覧

Br J Dermatol	査読		長谷川 稔	1
Frontiers Immunology	査読		長谷川 稔	1
Frontiers Immunology	編集	委員	長谷川 稔	
Dermatology Clinics and Research	査読		長谷川 稔	1
J Clin Med	査読		長谷川 稔	2
Experimental Dermatology	査読		長谷川 稔	1
J Invest Dermatol	査読		長谷川 稔	3
J Dermatol	査読		長谷川 稔	8
J Dermatol	編集	委員	長谷川 稔	
Journal of Scleroderma and Related Disorders	査読		長谷川 稔	2
Arthritis Research & Therapy	査読		長谷川 稔	1
Eur J Dermatol	査読		長谷川 稔	4
Modern Rheumatology Case Reports	査読		長谷川 稔	2
PLOS ONE	査読		長谷川 稔	1
Immunological Medicine	査読		長谷川 稔	1
Arthritis & Rheumatology	査読		長谷川 稔	2
JEADV	査読		尾山 徳孝	1

(E) その他